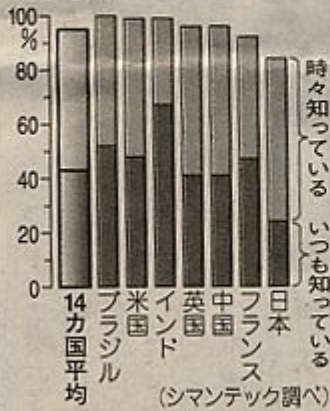


子どもがネット上で見ている
内容を知っているか？



日本は関心低く

14カ国で保護者アンケート

日本の保護者は海外と比べて子どものインターネット利用に対する関心が低い。セキユリティー対策ソフトウェア、シマンテックが14日までに、日本や米国、中国、ブラジルなど14カ国で実施したアンケートでこんな結果が出た。

シマンテックは「子どもはネットを通じ、いじめや性犯罪の脅威にさらされており、保護者の責任は大きい」と、親子でネット利用のルールを話し合うことなどが必要だと指摘している。

子どもがネット上で

見ている内容を把握しているかを聞いたところ、日本は「いつも知っている」が24%、「時々知っている」が60%で計84%。しかし、14カ国の平均は計95%と高く、日本は最も低くなった。

「何か問題が起きた時だけ子どものネット活動を調べればよい」との回答も、平均の29%に対し日本は51%と最高。日本は子どもにネットを自由に使用せざる傾向が強いという結果になった。

ネット利用について家族でルールを決めていると答えたのは38%、ネットを安全に使う習慣を子どもと話したことがあると回答した割合も35%と、ともに日本は平均の半分程度だった。調査は14カ国の保護者約1700人を対象に2月に実施した。